

No.208

KANTOU

かんとう



特集／新年賀詞交歓会を盛大に開催
関東商組(1月16日)・全原連(1月23日)

春号

発行 関東製紙原料直納商工組合 東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
2020.4.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介 電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>



中小企業の事業継続力の強化を応援します！

「事業継続力強化計画」認定制度のご案内

**災害に負けない、
“事業継続力”を強化しよう。**

地域の経済活動やサプライチェーンを支える企業として、いざという時に従業員の命や雇用を守り、地域や顧客との関係を維持・発展させていくことが必要です。実効性のある計画を策定し、災害に負けない“事業継続力”を強化させましょう。



自然災害は年々増加

近年の気候変動等の影響により、西日本豪雨（平成30年7月豪雨）や台風による深刻な被害が各地で発生しています。加えて、近い将来、南海トラフ地震や首都直下型地震といった巨大地震の発生が予測されています。また、全国各地で雪害や竜巻、火山の噴火等様々な自然災害に伴うリスクも想定されます。

〔災害発生に伴う数々のリスク〕

事業活動停止のリスク	ヒト(人員)	モノ(建物・設備・在庫等)
<ol style="list-style-type: none"> 営業再開が遅れ、取引先が発注先を替えてしまう。 営業停止期間中、経営上の損失が生じ続ける。 営業停止期間中に得られたはずのビジネスチャンスを逃してしまう。 	<p>連絡網等を準備していなかったため、一部従業員の所在が掴めず、人手の確保ができない！</p>	<p>大雨で浸水し、倉庫にあった在庫が全て販売不可になってしまった！</p>
	カネ(資金繰り)	情報(顧客データ等)
	<p>保険に入っていないため、設備の復旧に必要な資金の目途が立たない！</p>	<p>データのバックアップを保存しておらず、重要なデータをすべて喪失してしまった！</p>

まずは自然災害によるリスクを想像し、対策に向けて一歩を踏み出すことが重要です。

■ 中小企業庁ホームページ

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.htm>

中小企業庁HP ▶ 経営サポート ▶ 経営安定支援・BCP ▶ 事業継続力強化計画

お近くの経済産業局等(申請のご相談)

北海道経済産業局 産業部 中小企業課 011-709-1783 〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西2丁目1-1 札幌第1合同庁舎

東北経済産業局 産業部 中小企業課 022-221-4922 〒980-8403 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1

関東経済産業局 産業部 中小企業課 048-600-0321 〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1 さいたま新都心合同庁舎1号館

中部経済産業局 産業部 中小企業課 052-951-2748 〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸二丁目五番二号

近畿経済産業局 産業部 中小企業課 06-6966-6023 〒540-8535 大阪府大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館/2・3・5階

中国経済産業局 産業部 中小企業課 082-224-5661 〒730-8531 広島県広島市中区上八丁堀6番30号

四国経済産業局 産業部 中小企業課 087-811-8529 〒760-8512 香川県高松市サンポート3-33

九州経済産業局 産業部 経営支援課 092-482-5592 〒812-8546 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号 福岡合同庁舎本館

内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 中小企業課 098-866-1755 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館

中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室

〒100-8912 東京都千代田区霞が関1-3-1

TEL : 03-3501-0459 FAX : 03-3501-6805 Email : keieiantei@meti.go.jp

巻頭言

「春を想う」

関東製紙原料直納商工組合
理事長
大久保信隆

700年前に兼好法師は「徒然草」の文章で「をりしも雨風うちつづきて、心あわたたしく散り過ぎぬ」心の浮き立つ春をたたえながら、(私には“選抜高校野球”だが)空模様が変わるのを残念がっている。春はのどかな光の中、草も萌えだして周辺では春霞に覆われて、花も色づいてくる。いい気分になると言っておりますが、今「マスクがない」と行列、そして「トイレトーパーがなくなる」とデマが飛

ぶ令和元年度の期末を迎え、新型コロナウイルスがどうなるのか心配して毎日を送っています。

3月7日アメリカのジョーンズ・ホプキンス大学の集計によると世界の感染者数、約10万2千人のうちの約8割を中国が占め、次に韓国が最も多く約6,600人、次いでイラン約4,750、イタリア4,640人続く。日本は400人を超えた。中国では新たな感染者数が減ってきた反面、それ以外の国や地域での感染者が急増している。今のところ予防策は「手洗い」と「うがい」と空気がこもる所にいかない事です。今後日本ではどの様に収束させていくのか、治療薬のワクチンがいつ出来るのか、見えない敵と戦わなければなりません。

本年はオリンピックイヤーで、すべての国がウイルスの封じ込めをしないと東京オリンピックは出来ないと思います。また、今後の経済はどうなるのか。アメリカ市場ではダウ平均が米連邦準備理事会の0.5%の緊急利下げを実施したにも関わらずリーマン級の波乱相場となった。

日本では、新聞報道によると社会の人の動きが大きく変わりつつあると書かれていました。オフィス街では人が2割少なく、銀座と新地の夜の出人は半減で活気なし。ホテルや飲食などの予約キャンセルも2月末には20%を超えまし

た。大企業では業務改革が加速すると言っており、3月7日に安倍晋三首相は個人事業主を含む中小、小規模事業者を対象に金利などの条件を大幅に緩和した貸付制度を創設すると表明した。日本政策金融公庫などを通じて「実質無利子、無担保の融資をする」と述べた。業界にとって「古紙余剰対策」と「働き方改革」は非常に厳しい年となっている中、ありがたいです。

また、自ら状況をもっと知らしめる必要があると思います。リサイクルの優等生「古紙の回収率79%に下がる」などとセンセーショナルな記事が掲載されるが、我々が選別に苦勞して循環産業を維持している実態のPR不足とサービス精神が旺盛だった事を反省しなくてはなりません。

特に働き方の「時間」と回収する「数量」そして「分別」について排出者側に明確に分かるように組合として基準を提示する時を迎えたと思います。それによって安定的な回収が行われ、古紙が持続的にリサイクルされるには「作る製紙会社」だけの理解では足りず「加工会社」も理解し、「使う消費者」も分別排出を理解し、回収、梱包、配送にも費用が掛かることを理解してもらう事が重要だと考えます。

人間の血液と同じように動脈、静脈の流れのごとくそれぞれが責任を果たし応分の経費を負担することもSDGsの17項目12番「つくる責任 つかう責任」の一つだと思います。

色々と問題は山積し、不透明な時代が続きますが、組合員一同、一層信頼できる製紙原料業界にするため、元気に朗らかに健康に注意して今後も頑張りましょう。

(2020.3.9)

関東商組と全原連 新年賀詞交歓会

関東製紙原料直納商工組合

(1月16日)

古紙品質の持続的な向上努力で 安定した輸出先の確保を図る

関東製紙原料直納商工組合(以下「関東商組」)は1月16日、東京・荒川区のホテルラングウッド「鳳凰の間」で新年賀詞交歓会を開催した。会は齋藤大介・副理事長(齋藤英次商店)の司会で進行。齋藤米蔵・副理事長(齋藤商店)の開会の辞で始まり、大久保信隆・理事長(大久保)の挨拶に続き、来賓を代表して甘利明・衆議院議員(資源リサイクル議員連盟会長〈以下「リサイクル議連」〉)、村山勝彦・経済産業省製造産業局素材産業課企画調査官、和田健太郎・(公財)古紙再生促進センター関東地区委員長が祝辞を述べた後に須長利行・副理事長(二見)が来賓を紹介。栗原正雄・全国製紙原料商工組合連合会理事長(栗原紙材)による乾杯の発声で定刻まで歓談。藤川達郎・副理事長(藤川紙業)が中締めを行い梶野隆史・副理事長(梶谷商事)の閉会の辞で終了した。

なお、祝宴の合間を利用して来賓の富田茂之・衆議院議員(リサイクル議連)、西川太一郎・荒川区長、松島みどり・衆議院議員がそれぞれ祝辞を述べた。

以下、各氏の発言要旨である。

*

【開会の辞】

齋藤米蔵・副理事長(齋藤商店)

「厳しい状況だが皆さまの協力を得て」



令和2年は製紙原料問屋にとって20数年来の厳しい状況で始まり、今後も厳しい状況が続くと見込まれています。このような状況下で、本日は資源リサイクル推進議員連盟の国会議員の方々や、古紙再生促進センター関東地区委員会の方々など多数の参加をいただいています。皆さま方のお力添えを得ながら、この難局を何とか乗り切っていきたい。

*

【理事長挨拶】

大久保信隆・理事長(大久保)

「消費と回収のバランスをとって古紙リサイクルを維持させる」

昨年を振り返ると、米国トランプ大統領の来日後に平成から令和へ即位の儀式が年末まで行われ、国民は新天皇に一層親しみを感じたと思

目次

巻頭言.....	1	業界人語.....	20
新年賀詞交歓会.....	2	編集後記.....	20
関東商組理事会報告.....	13		
三紙会定例会報告.....	16		
三紙会 Tweet	18		

【表紙写真】

酒匂川を渡る JR 東海道線。富士山東から丹沢を経て相模湾に注ぐ豊かな足柄平野の水源。鮎も釣れ、水田も潤す。春の土手は桜や菜の花が満開に。

渉外広報・IT 委員長 須長 利行



います。スポーツの世界ではラグビーのワールドカップで日本代表が「ONE TEAM」の合言葉のもと大活躍し、国中を沸かせました。反面、厳しい出来事もありました。暴風・豪雨、台風15号や19号が上陸し長野や関東地区に甚大な自然災害をもたらしました。今年も気候変動の影響で自然災害が懸念されているので、ヤード運営や古紙の輸送などに際しては極力CO₂の排出削減に努め、地球温暖化の防止に貢献していきたい。

さて、政府は「景気は緩やかな回復基調が続いている」と発表しているが、米中貿易戦争や中東の地政学リスクの影響などにより世界経済は不透明感を増しています。国際政治の緊張関係が今年も続くと予想され、経済の不確実性や為替変動などの影響で一層複雑な一年になると思います。

紙・板紙の生産が年々減少する中、わが国では2020年度末までに古紙利用率65%の達成を目標に掲げています。一方、中国は2020年末をもって固体廃棄物としての古紙を輸入しないと述べています。どこの国でも、ゴミを買わないのは当たり前です。われわれは古紙を回収し、製紙原料として商品化しています。昨年11月の回収率は79%に下がったが、これは製紙原料にならない複合材や禁忌品を除き、品質強化に努めた証しでもあります。

この4月から中小企業にも「働き方改革」関連法が適用されますが、われわれの業務は時間との闘いなので、業界として連携して克服したい。そして今後の需給調整にとって安定した輸

出先の確保は大きな問題であり、製紙メーカーと緊密に連携しながら検討しています。何よりも製紙メーカーからは「紙リサイクルシステムを壊してはいけない」という力強い言葉を頂戴しています。当組合は昨年8月から、中国以外の国へ定期輸出を始めました。これからも消費と回収のバランスを図りながら、製紙原料である古紙の品質を持続的に向上させる努力をしていきます。

古紙価格が値下がりして持ち去りは少なくなりましたが、資源リサイクル推進議員連盟の皆さまには新しい法律の制定をご検討いただいています。われわれは、「生業」として紙のリサイクルに携わるだけでなく、社会に貢献してコンプライアンスに則った業界としていくべきであると思っています。持ち去り行為を撲滅するため今年も各自治体と協力の上、GPSによる追跡調査を実施します。

今年は東京オリンピック&パラリンピック・イヤーです。誇りを持って前進することで、外国の方々に製紙原料業界を知ってもらいたいと思います。本年も特段のご協力とご支援をお願いします。

*

[来賓祝辞]

甘利明・衆議院議員（リサイクル議連 会長）
「現場の声を受け止め景気を安定させる」



関東製紙原料直納商工組合の方々には、リサイクル社会の構築に先陣を切って活動されています。リサイクル社会と言われて久しいですが、古紙業界はそれ以前から業態が定着していた。

その後「混ぜればゴミ、分ければ資源」などの言葉も出てきた。古紙の持ち去り問題については、GPSでの追跡調査など撲滅に苦勞されている。リサイクル議連では葉梨康弘議員が座長になって法制化を検討しており、少しずつ前進させています。

このところの古紙市場は中国の環境政策の影響で輸出が減少しており、国際情勢の変化に翻弄されています。国内の景気は米中の経済摩擦や中東の情勢、英国のEU離脱など不安要因もあるが、外交努力を通じ世界の主要国の一員として安定化に取り組んでいます。外的な要因もありますが、国内経済を安定化させるために今年度は大型の補正予算13兆円、来年度予算と合わせて総事業規模28兆円を15ヵ月予算として編成します。消費税対策としてポイント還元、その後にはオリンピック・パラリンピックの開催、9月にはマイナンバーカードを利用した還元を予定しており、切れ目のない経済対策に取り組んでいきます。現場の声を受け止めながら景気の安定に努めます。

*

[来賓祝辞]

村山勝彦・経済産業省製造産業局 素材産業課
企画調査官

「需給両業界との情報交換で難局を乗り切る」



2020年は令和2年。2が並ぶ年は大変珍しい。2は指で表すと勝利のVや平和のPEACEでもあります。今年も、皆さま方が平和で大活躍する年になると思っています。昨年は、自然災害による甚大な被害が引き続き発生しました。勢

力の強い台風が関東地区に上陸し、記録的な暴風により広域での停電など日常生活に大きな被害をもたらしました。経済産業省では製紙業界の協力をいただき、段ボールベッドやトイレトーパーなどの物資を被災地へ供給しました。この活動は紙の重要性を再認識する機会になりました。

古紙については中国の固体廃棄物輸入規制によって、日本国内の需給状況が2018年末までの逼迫状況から一変し、段ボール古紙を中心に大幅な余剰になっています。中国はさらに古紙輸入ライセンスの発行量を減らし、今年末までに古紙の輸入量を限りなくゼロにする予定です。中国の市況と合わせ、古紙を取り巻く今後の環境に注視が必要です。古紙の需給バランスの急激な変化や価格の変動は皆様方の商売にダイレクトに影響します。

日本は限られた資源を利用していますが、古紙は製紙原料業界と地域住民の尽力によってリサイクルシステムが確立されています。経産省としては需給両業界の方々と緊密に情報交換しながら、この難局をともに乗り切っていきたいと思っています。

変化が大きい昨今ですが、経産省では2020年度までに古紙利用率65%という達成目標を掲げています。つまり本年4月から、その最終年度を迎えます。直近の統計では、古紙利用率65%を目前にしています。皆さま方の日頃からの協力に感謝を申し上げるとともに、引き続き積極的な取り組みをお願いします。

日本国内では人手不足が続いていますが、古紙業界の皆さまにおいては、これまでの職歴にとらわれず意欲と能力を持っている人材の積極的な採用を検討いただくようお願いします。本年は夏に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、日本代表選手の大活躍で、われわれも元気をもらいたいと思います。

*

[来賓祝辞]

和田健太郎・(公財)古紙再生促進センター
関東地区委員会 委員長
「ピンチをチャンスに変える」



昨年は5月に平成から令和へ元号が変わり新しい時代になりました。スポーツ界ではラグビーワールドカップなど明るい話題が提供され、世界レベルで戦う選手たちを見て、たくさんの勇気もらいました。一方、自然災害では台風15号、19号により各地で甚大なる被害が発生しました。

紙業界に目を転じると、日本国内の紙・板紙出荷量は昨年1～11月ベースで△2.9%。うち紙は△3.8%、板紙は△1.9%と、非常に芳しくない状況です。中国は独自の環境政策に基づき古紙の輸入制限を強めており、2017年の実績は2,600万t、18年が1,700万t、19年が1,100万tでした。20年は前年の6割程度になるようで、粛々と政策が進められています。一方、日本の段ボール古紙は年間160万tの輸入超過であり、この分を輸出しなければ国内のバランスが取れない状況です。

そこで業界として心掛けなければならないことを、次の通りお願いしたい。まず、「製紙メーカーとしては当たり前のことを確実に行う。」とりわけ今年は、できるだけ古紙を使用していきたい。古紙問屋では収益が確保できるように、仕入価格と販売価格の間で適正な幅を保っていただきたい。次に「古紙回収業界と古紙問屋業界が、ともに収益を確保できる仕組み」を作る必要がある。古紙はリサイクルが止まるとゴミ

化してしまうので、必ず循環させなければならない。そのためにも回収業界と問屋業界の経営は、健全である必要があります。過当競争ではなく、コストを意識した経営を目指していただきたい。

日本の古紙は選別の品質が良好で高い評価を受けていますが、輸出先の国からは欧米の古紙と同じように扱われる。今こそ“JAPAN BRAND”を前面に出し、日本の古紙を安定的に輸出できる体制を作る手伝いをしたい。「大変」という言葉は大きく変わると書くが、ピンチをチャンスに変えるタイミングでもあります。われわれは今こそ一丸となって難局を乗り越え、古紙リサイクルの輪を維持できるようにし、ご協力をお願いします。

*

[乾杯の発声]

栗原正雄・全国製紙原料商工組合連合会 理事長、(公社)東京都リサイクル事業協会 理事長
「明るい希望の持てる年に」



旧年中は大久保理事長を中心に中核団体として全原連を支えていただき、心より感謝を申し上げます。本年も引き続きご支援・ご指導をいただくようお願いします。令和2年が製紙原料業界にとって明るい希望の年であることと、本日参加された皆さま方にとって幸多い年になることを祈念して杯を高らかに掲げます。

*

[来賓祝辞]

富田茂之・衆議院議員(リサイクル議連 幹事長)
「古紙リサイクルの補助金を検討」



昨年末に資源リサイクル推進議連の総会に出席し、古紙業界の大変な状況を説明していただきました。また先週、千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会の新年会に出席した際は、集団回収で集めた古紙を回収してもらえない地域があることや逆有償回収が始まっていることを聞き、驚きました。古紙問屋のヤードをどのように維持していくか——国から市町村の各自治体をお願いして、回収コストをどのように確保するかが最大の課題となります。千葉県では補助金の要望が出ました。千葉では昨年、台風の被害で発生した廃棄物のリサイクルを業界の方々にお願いしています。処理には2年程度の期間が必要なので、古紙回収と合わせて補助金を検討したい。

*

[来賓祝辞]

西川 太郎・荒川区長

「資源リサイクル行政を通じて業界をサポート」



ご臨席の国会議員や経済産業省の方々、大久保理事長や栗原全原連理事長の指導・支援のお陰で、荒川区の資源リサイクル行政を円滑に進

めることができています。都政との連携でも、さらに活動が広がっています。これからも木材由来の古紙が再生利用され、地球環境が維持できるよう業界の皆さま方をサポートしていきたい。

*

[来賓祝辞]

松島みどり・衆議院議員

「小規模事業者へ補正予算で3,600億円」



東京オリンピック・パラリンピックまでの景気は良いが、その後も景気が悪くならないようにしなければならない。昭和のオリンピックでは、終了後に景気が悪くなって中小企業が倒産しました。1月20日から始まる通常国会では、今年度の補正予算に中小企業小規模事業者対策費を例年の3倍となる3,600億円に上積みして、ものづくり補助金やIT化補助金などとして皆さま方に使っていただけるようにします。また資金繰りについても、信用保証協会の特別枠で個人保証なしで金融機関からの借入れができるようにします。さらに今後、日本政策金融公庫が事業承継された方への特別融資に取り組んでいきます。皆さまの業界は日本にとっても世界にとっても重要な業界であり、これからの事業継続と発展を祈念します。

*

[中締め]

藤川達郎・副理事長（藤川紙業）

「重要課題は古紙リサイクルシステムの維持」

古紙はこの1年ほど、余剰が続いています。今年の最重要課題はリサイクルシステムの維持



です。昨年は製紙各社の協力によって何とか古紙リサイクルが維持できました。今年も引き続き倍旧のご支援を賜るようお願い申し上げます。

*

[閉会の辞]

梶野隆史・副理事長（梶谷商事）

「希望を持って活動する一年に」



ご挨拶では厳しい内容の発言が多かったですが、本日参加された方々の笑顔を見ると、この難局を乗り越えるのではないかと思います。今年一年、希望を持って活動していきたいと思ひます。



[来賓祝辞] 松原仁・衆議院議員



[司会] 斎藤大介・副理事長

全国製紙原料商工組合連合会

(1月23日)

全国製紙原料商工組合連合会（以下「全原連」）は、1月23日（木）東京・浅草ビューホテル祥雲の間で新年会を開催した。

会は岩渕慶太・副理事長（九州商組：イワフチ）の司会で進行。開会の辞を石川喜一郎・副理事長（中部商組：石川マテリアル）が述べ、栗原正雄・理事長（関東商組：栗原紙材）が挨拶。富田茂之・衆議院議員（資源リサイクル推進議員連盟〈以下「リサイクル議連」〉幹事長）、吉村一元・経済産業省製造産業局素材産業課 課長、矢嶋進・日本製紙連合会 会長が来賓を代表して祝辞を述べた後、渡良司・（公財）古紙再生促進センター代表理事による乾杯の発声で開宴し定刻まで歓談した。司会者から当日出席の来賓が紹介され、浅野哲・衆議院議員（リサイクル議連）、大畠章宏・リサイクル議連特別顧問、松木けんこう・前衆議院議員が挨拶。アトラクションとして地元浅草の芸者衆の紫乃さんと千乃さんによる日舞が披露された。大久保信隆・副理事長（関東商組：大久保）の中締めに続いて矢倉義弘・副理事長（近畿商組：大和紙料）の閉会の辞で祝宴は終了した。

以下、各氏の発言要旨である。

*

[理事長挨拶]

栗原正雄・理事長

「古紙のゴミ化を防ぎ、リサイクルシステムを維持」



昨年で中国が先進国からの古紙輸入を規制し始めて3年が経過しました。中国が昨年輸入した古紙は1,070万tです。3年前が2,600万tだったので半分以下に減っています。昨年の中国からの商品輸入に伴う段ボールケースなどの梱包材は160万tでした。段ボール原紙は100%段ボール古紙から生産しているので入超分は海外に戻さないと国内の需給が整いません。

一昨年までは中国を含めたアジア各国へ超過分全てを輸出していましたが、昨年は中国の規制強化によって超過分の一部が輸出されないことで古紙の国際循環が断たれた結果になりました。国内で余剰な状態が続き国内の製紙会社では年初から古紙価格が下落しましたが、日本の古紙リサイクルシステムを維持するために今日まで買い支えて頂きました。

この様な状況下、年間で古紙が最も発生する12月を迎えて、経済産業省へ製紙会社に対して在庫の積み増しをしてもらう様にお願いしました。11月の古紙輸出量は段ボールが21万tその他8万t合計29万tは、年末に発生する古紙を荷受けするために全国の組合員各社が採算を抜きにして輸出して頂いた結果です。また、全原連と各地域の商工組合の連名で自治体へ古紙受け入れの支援依頼をした結果、在庫場所の提供や御用納め以降の回収は年明けにしてもらいました。

現在、中国国内のマーケットは輸入規制を行

っている影響で古紙の不足状態が続いており、価格は国際価格の6～7倍になっています。この結果、中国の製紙会社は近隣諸国へ移転する計画が進んでいます。私は中国政府が輸入規制を続けることは結果的に大きなマイナスになると思っています。日本の古紙回収率は80%を超えていますが、中国は古紙回収率を80%以上に引き上げることで、ゴミの発生を抑えて人民政府の支出を減らすことを目的としています。これには誤りがあります。日本には輸入品の梱包材として約160万tの段ボール箱が入ってきており、欧米へは日本の5倍～6倍(650万t～780万t)の量になりますが、中国政府は国内の回収率の計算で、輸出商品の梱包材としての段ボール原紙の量を減らしていません。大都市部での回収率は日本より高い回収率になっており、今後も中国国内で回収量が増えることは考えにくいと考えています。リサイクル議連の国会議員の方々にこの様な状況を理解して頂いて、日本政府から中国政府へ実情を話して頂き、中国が謳っている環境対策として固体廃棄物を輸入しないことに対して、『日本の古紙はゴミが混入していないので廃棄物ではなく、製紙原料=資源であること』を中国政府に認識させることをお願いしたい。

中国は引き続き先進国からの古紙の輸入を減量すると言われており、昨年は古紙の輸出先の比率は80%が中国、20%が東南アジアでしたが、昨年は55%が中国、45%がアジア諸国になり、中国向けの25%分を他の国へ輸出しました。それでもまだ十分ではなく年間を通して余剰の状態が続きました。

今年度もさらに中国以外の輸出比率を高められる様に、本日も来席の皆様方のご支援を頂いて、何と少しでも古紙のゴミ化を防ぐために、紙リサイクルシステムの維持を図っていくことを社会的な責任と認識して全原連一同力を合わせて課題に取り組んで参りたいと思います。

ここにおられる皆様方にとって令和2年が幸せで和やかな年であることを祈念して年頭の挨拶

拶とさせていただきます。

[来賓祝辞]

吉村一元・経済産業省製造産業局素材産業課課長
「インドを含めてアジア地区への輸出枠を検討」



昨年は大規模な自然災害が続きました。被災された方々にはお見舞いを申し上げます。全国で被災された地域へ、紙の業界からトイレットペーパーや段ボールベッドなど支援物資を届けて頂いたことにお礼申し上げます。

古紙を取り巻く環境に大きな変化が生じています。中国においては固体廃棄物の輸入規制によって、2018年までとは大きく変化している状況です。段ボール古紙を中心に大幅な余剰が発生しています。中国では今後も輸入ライセンスの枠を徐々に減らして、今年の年末までに輸入量をゼロにすると発表しています。中国の国内でも問題が生じているので情報を取りながら対策を考えていきます。

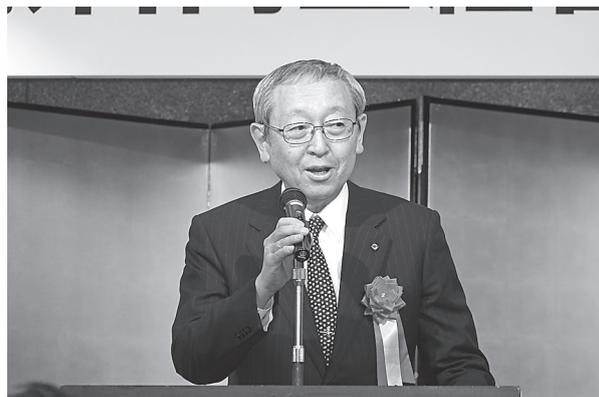
一方、日本は限られた資源の中で古紙を活用して製紙業界、原料業界、地域住民が一体となって世界に誇る紙のリサイクルシステムを構築してきました。このシステムを使って国際競争力を高めて頂きたい。経産省として古紙の余剰対策に取り組むと考えています。

経産省では2018年度から製紙業界と原料業界と連携してインドを対象にして紙のリサイクルシステムを構築する事業を行っています。専門家をインドに派遣して、インドからは研修生を受け入れて、インドを含めたアジア地区へのビジネスを拡充させて、アジア地区への古紙の輸

出枠を確保していきたいと考えています。

[来賓祝辞]

矢嶋進・日本製紙連合会会長
「古紙市場の長期的な存続のために基準価格を設定」



昨年はいろいろな事がありました。今年は千支の最初の年なので平穏な年になって欲しいと心底思っています。

昨年は米中貿易摩擦や宗教の対立による中東問題、英国のEUからの離脱、北朝鮮問題、香港の民主化問題など枚挙にいとまがない年でした。日本経済もこれらの世界情勢にかなり影響を受けた上に、日本独自の少子高齢化問題、財政問題、日銀の超金融緩和政策問題などが解決できずに年を越しました。従って日本経済の不安定な状態が今年も続くのではないかと考えています。

2019年紙・板紙の出荷量(速報)は2,370万t強で前年比▲3.2%でした。長期減少傾向が続いている状況です。特にグラフィック系の新聞用紙は▲7.8%で大幅に減少しました。印刷・情報用紙は▲4.4%、板紙は▲1.9%、主力の段ボール原紙は▲1.6%でした。段ボール原紙は当初前年比でプラスを見込んでいましたが台風15号、19号の上陸と10月の消費税増税に伴う景気の落ち込みなどのマイナス要因によって前年比で減少しました。紙・板紙には様々な品種がありますが、唯一前年比で増加したのは家庭紙です。日本製紙連合会の今年の予測は紙・板紙合計で▲1.7%で、今年も減少傾向に歯止めがかからな

い状況です。新聞用紙が▲6%、印刷・情報用紙▲3.8%、板紙+0.1% (段ボール原紙は+0.5%)です。いずれにしても当業界は日本の人口と同様に業容がシュリンクすることが予想されています。

古紙は一昨年の下期から中国の環境行政の影響で輸出価格が高騰し、国内価格も輸出価格に引上げられて高騰しました。この時、製紙会社の数社が古紙の購入基準価格を撤廃しました。理由は実勢価格が高騰したことで基準価格との乖離が大きくなり過ぎたからです。しかしながら王子グループは基準価格に固執し、最低の購入価格として新たに位置付けました。この基準価格が今も守られていると思っています。実際には新聞17円/kg、雑誌15円/kg、段ボール18円/kgであります。この算定根拠は回収コストに一定の利潤を乗せております。この基準価格の中で常識的に疑問に思うところは、段ボール古紙が新聞古紙より高いと言うことです。段ボール古紙は全量を国内の製紙会社で消費できないことで、製紙原料業界は輸出か燃料にしか用途がないものまで回収しなければならない部分をコストとして捉えています。

古紙の市場は製紙会社が古紙の供給者である需要者でもあるので供給者と需要者が同一の者です。市場における価格は供給曲線と需要曲線が交わる均衡点で決定されますが、古紙の市場では供給者と需要者が同一であるためこの考え方が成立しません。供給者と需要者が同一である市場の価格は長期的なコストで決定されることが当然であります。製紙会社は短期的な古紙の価格に惑わされることなく、適正な利潤を含めた長期的なコストで古紙を買い続けることが、この市場を成立させて長期的に存続させることになると思います。外部的に大きな衝撃がなく、内部的な異端者の影響が大きくなりません限り我々製紙会社はこの様な考え方で古紙に対して接していくべきであると考えています。

一部の報道では段ボール原紙を高めに安定させるためにもっと下げることができる古紙の価

格を人為的に吊り上げている様な記事がみられますが、我々はこの様な報道に対して大変な憤りを禁じ得ません。我々が根本的に持っている考え方をまったく理解せず、平面的な現象だけで物事を決めつける人達には十分な注意が必要です。

我々製紙会社は原料業界と共に意思の疎通を図って、逆風が吹いている業界環境の中で頑張っていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

[乾杯の発声]

渡良司・(公財)古紙再生促進センター代表理事
「古紙は貴重な資源であることを認識し、利用率65%を達成」



先程からいろいろな方が話されていて、今年も何となく難しい年になりそうですが、今年もオリンピックイヤーなので希望に満ちた明るい年になると心から思っています。

昨年の古紙を取り巻く環境は一昨年とは全く違った状況でしたが、需給両業界にとって非常に悩ましい年でした。今年も何があるかわかりませんが需給両業界が知恵を出し合って難局を乗り越えたいと思います。そのためには古紙は大切に貴重な資源であるとの共通認識のもと、古紙の回収率を上げて利用率目標の65%を達成して、紙リサイクルの維持と発展に努めなければならないと思います。古紙センターとしても様々な活動を行ってまいりますので、引き続きご協力をお願い致します。

正月にNHKの「映像の世紀プレミアム 東京

夢と幻想の1964年」という番組を観ました。昭和39年の夏は猛暑で水が全くなく小河内ダム（西多摩郡奥多摩町）が干上がって東京砂漠現象が起きました。幸いにも8月に大雨が降って都民は慈雨として喜びました。当時の映像では木造家屋が多く、非常に貧しかったとの印象を受けました。加えて東京は非常に汚い街でもあったことが解りました。

当時の東龍太郎都知事が「1964年の東京五輪をキレイな街で（首都の美化はオリンピックの1種目）」をスローガンとして呼びかけて、都民総出で清掃をしている映像もありました。当時はゴミを平気で路上や川に捨てていた時代でした。そのために道路ミスト車両や道路清掃車、川に浮いているゴミを回収する船もあった様でまさしくイノベーションが起こったと思います。

それから56年経過して東京はきれいな街になったと思います。これは行政の力もありますが、本日お集まりの方々の先輩たちが、紙ごみを資源として回収することで、東京をきれいにしようとの思いで事業に取り組まれた結果だと思います。今年はオリンピックイヤーですので、その想いを強くして、紙のリサイクルを維持発展させねばならないと思いました。



[来賓祝辞] 大島章宏・前衆議院議員



[来賓祝辞] 松木けんこう・前衆議院議員



[開会の辞] 石川喜一郎・副理事長



[来賓祝辞] 富田茂之・衆議院議員



[中締め] 大久保信隆・副理事長



[閉会の辞] 矢倉義弘・副理事長



和やかな集合写真



[司会] 岩淵慶太・副理事長



アトラクション

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作

株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

- | | | |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店 | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店 | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店 | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |

関東商組理事会報告

令和元年度 第7回 理事会報告

開催：令和元年 12月23日(月)

15時～16時45分

関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…28名

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

実施なし(11月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報告

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部	ランニング	
	西支部	ランニング	
	多摩支部	ランニング	12/5 支部会
神奈川県支部	東部	輸出により減ってきている	
	中央	段ボール中心に在庫あり	
	西部		
千葉県支部		少したまっている	
埼玉県支部	東部		12/9 役員会
	京浜部	まちまち	東部、京浜忘年会
群馬県支部		多少あり	
茨城県支部		まちまち	
栃木県支部		横ばい	

3. 関東商組における段ボール古紙余剰対策への対応状況

(1) 台湾・マレーシア向け輸出

組員価格を6円/kgと維持するため引き続き補填に需給安定基金を使用していく。

マレーシア向けの値段については再考してほしいことを申し入れた。

(2) 段原紙輸出への対応

来年も引き続き取り組んでいきたい。

(3) 関係機関への要請状況

経産省素材産業課から日本製紙連合会へ古紙在庫の確保などの協力要請が出され

た。

地方自治体への協力要請等文書が必要な場合には事務局まで連絡すること。

4. 令和2年新年会開催計画(修正)

開会の辞を斎藤米蔵副理事長に変更。

5. 台風15号及び台風19号による被害に係る全原連見舞金の取扱い

11/29全原連理事会において関東商組に対し40万円の見舞金をおくることが決定された。被害報告のあった支部に対して次の通り配分する。

支部名	東京都東	東京都西	神奈川県	埼玉県	埼玉県	栃木県	茨城県
配当額(万円)	3	3	14	5	9	3	3

6. 各会議報告

(1) 総務財務委員会(12月19日開催)

順調に推移している。

(2) 正副理事長会(12月19日開催)

(3) 総合運営委員会(12月19日開催)

7. 近代化推進事業委員会報告

(1) 経営革新委員会(12月10日開催)

・令和2年3月22日～3月29日 海外調査事業(オランダ・フランス)実施予定。

・品質管理責任者更新試験について

今年度の申込者は更新204名、新規48名(12/10時点)

今回更新できない場合は令和4年3月31日までに更新をしてください。

・古紙商品化適格事業所について

品質管理責任者の資格を持つ会社を増加していき新規登録を推進したい。

(2) 安全防災委員会

・無事故、無災害で年末年始を乗り越えていきたい。

(3) 需給委員会(11月27日・12月20日開催)

- ・12月、1月分（国際マーケット調査事業）の見積もり合わせを行なった。
- ・12月段ボール、新聞各500tの調査事業を実施。雑誌は見送り。
- ・1月段ボール500tの調査事業を実施が決定した。
- ・古紙センター主導でのインドネシア調査を進めていく。
- ・経産省から古紙に関する事業環境の変化についての意見交換会が1、2月に開催される、関東商組からは下記2名が参加する。
経営革新委員会 新井委員長
需給委員長 山室委員長

(4) 渉外広報・IT委員会

- かんとく編集部会（12月9日IT活用部会合同開催）
- ・かんとく207号（新年号）は1月20日発行予定。
- ・春号に向けて企画会議を実施。
- 日中古紙セミナー
- ・詳細のパワーポイントが古紙センターのホームページに掲載中。

8. 三紙会

令和元年11月 裾物主要三品仕入報告

- ・段ボール：前月比 96.5%、前年比 98.9%
- ・新聞：前月比 103.8%、前年比 93.6%
- ・雑誌：前月比 98.2%、前年比 100.2%

9. その他

- (1) 古紙センターによるインドネシア調査報告
- (2) 組合事務局年末・年始休暇
令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)
緊急の際は富所専務理事へ

各種統計資料等

- 1. 関東商組 32社古紙在庫月別報告書
 - 2. 財務相貿易統計 古紙輸出まとめ
- ◎次回開催：令和2年2月19日(木) 15時～

令和元年度 第8回 理事会報告

開催：令和2年2月19日(水)
15時～16時45分
関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…27名

1. 古紙持ち去り関係

- (1) GPS 追跡調査実施状況
実施なし（12月理事会から本理事会の間）
- (2) 来年度におけるGPS追跡調査に関する方針
来年度も引き続き実施する、持ち去り禁止法令の制定・施行後は方針を再検討する。

2. 各支部市況報告

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部	新聞・雑誌多い 段ボール少し増えている	2/25 新年会
	西支部	ランニング 新聞・雑誌増えている	2/4 新年会
	多摩支部	雑誌多い	2/5 ブロック会
神奈川県支部	東部	新聞・雑誌多い	3/12 役員会
	西部		
千葉県支部	新聞・雑誌多い	GW後の対応を考えている	
埼玉県支部	新聞・雑誌・上物多い	3月北部ブロックと群馬県支部でブロック会	
群馬県支部	あり		
茨城県支部	ランニングと在庫ある所とまちまち	1/28 新年会 2/20 定例会	
栃木県支部	横ばい	3月末支部会	

3. 次期役員候補者

- (1) 関東商組 役員候補者推薦状況
推薦会議において令和2、3年度の役員を候補者名簿に沿って決定した。
- (2) 全原連 関東商組分 役員候補者
監事候補として平松理事を推薦する。

4. 関東商組における段ボール古紙余剰対策への対応状況

- (1) 台湾・マレーシア向け輸出及び段原紙輸出への対応状況
引き続き取り組んでいきたい。
- (2) 製紙会社からの提案への対応

王子エコマテリアル(株)から全原連あてに「輸出製品増産による古紙消費量の維持・拡大について」提案があり、全原連は地域組合が個別に対応することを付記し提案に賛同した。

関東商組としては全原連の回答を了承した。

5. 日本の古紙の品質が優れていることをアピールするための動画作成

選別古紙であることを輸出先及び輸出国にアピールすべく古紙センター、日資連、全原連で作成内容を検討している。

6. 働き方改革の本格実施に向けた取組

- ・回収について東資協などに確認し組合としてのコストを検証していきたい。
- ・日曜日を業界として定休日に来れるように議論した。各支部で協議すべき等の意見が出されたが結論は出なかった。

7. 集団資源回収事業存続のための業者助成金支給に係る要望

埼玉県内の業者から要望書の要求があった。市区長村に提出する際に宛名を変更する場合は事務局へ。

8. 東京 2020 オリ・パラ大会における分別ナビゲーターの募集

各組合員へ通知し応募される会社は東り協へ推薦者リストを FAX するよう伝えることになった。

9. 第 27 回 TAMA とことん討論会協賛依頼例年通り協賛することが決定した。

10. 各会議報告

- (1) 総務財務委員会 (2月14日開催)
- (2) 正副理事長会 (2月14日開催)
- (3) 総合運営委員会 (2月14日開催)

11. 近代化推進事業委員会報告

- (1) 経営革新委員会 (1月21日・2月17日開催)
回収に係るコストについて議論した。

回収に関する費用として『逆有償』でなく『古紙流通化費用』、ヤードコストに関しては『古紙商品化費用』など分かりやすい言葉に変更して料金をもらう方向にシフト出来ないか議論した。

(2) 安全防災委員会 (2月6日開催)

8, 9月に近畿商組、紙朋会とディスカッションし、令和3年度ポスター作製をする。

(3) 需給委員会 (12月20日・1月27日開催)

相場2円程度になっている。(国際マーケット事業)

新型コロナウイルスの輸出への影響は次回開催時に報告できると思う。

(4) 渉外広報・IT委員会

- IT活用部会 持ち去り車両の報告その他資料の公開を続けている。

- かんとう編集部会 次回は4月号、働き方改革などにふれていきたい。

12. 三紙会 (1月29日開催)

2月13日～研修として王子マテリア、大分製紙・豊前工場を見学した。

13. その他

- (1) 特別区清掃リサイクル主管課長会、東京二十三区清掃一部事務組合との紙リサイクル意見交換会 (1月29日開催)
資源化コストへの助成の必要性について話し合った。
- (2) その他

各種統計資料等

1. 関東商組 32社古紙在庫月別報告書 (2019年12月・2020年1月)
2. 財務相貿易統計 古紙輸出まとめ (2019年11・12月)

◎次回開催：令和2年3月19日(木) 15時～

三 紙 会 報 告

12 月 度 定 例 会

日 時：令和元年12月16日(月)
15時30分～17時00分
場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
幹 事：福浦 秀樹・(株)大久保
足立 進・王子斎藤紙業(株)
報告者：伊藤 弘幸・(株)二見

【令和元年11月

裾物主要三品仕入実績報告 (34社)】

[段ボール] 前月比 96.5% 前年比 98.9%
[新 聞] 前月比 103.8% 前年比 93.6%
[雑 誌] 前月比 98.2% 前年比 100.2%

【ブロック別仕入平均単価報告 (各地区発表)】

平均単価：段ボール…6.76円、新聞…9.71円、
雑誌…4.52円

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) 上物市況報告

[洋紙向け] パルプの下落に連れ安となる形で価格弱含み。

[白板向け] 発生は低調、消費も低調で、低位バランス。

[特更向け] 出版物の販売不振は深刻、しかし消費も低調であるため荷余り感あり。

[家庭紙向け] 11月後半から荷動きは好調、古紙の発生は悪いものの、大手洋紙メーカーの停機による上物需要減なども影響しており、メーカーの古紙在庫にひっ迫感はない。また、雑誌選別品の流入があり、メーカーも同品質品を積極的に使用している為、ケント・模造などの真物の動きが悪くなっている。

●定例会終了後 忘年会を開催

次回の三紙会は、1月29日(水)15時30分～。

1 月 度 定 例 会

日 時：令和2年1月29日(水)
15時30分～17時00分
場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
幹 事：鈴木 大介・(株)共益商会
佐々木 健・栗原紙材(株)
報告者：後藤 和則・(株)高岡

【令和元年12月

裾物主要三品仕入実績報告 (34社)】

[段ボール] 前月比 111.6% 前年比 100.7%
[新 聞] 前月比 109.9% 前年比 94.6%
[雑 誌] 前月比 117.3% 前年比 100.4%

【ブロック別仕入平均単価報告 (各地区発表)】

平均単価：段ボール…6.28円、新聞…9.19円、
雑誌…4.05円

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) 上物市況報告

[白板向け見当] 発生は低調であるが、消費も低調であるため、低位バランス。

[洋紙向け色上] パルプの下落に連れ安となる形で価格弱含み。

[特更向け別上・切付] 出版物の販売不振は深刻。それに伴う切付の発生は低調。消費も低調であるため荷余り感が出てきている。

[家庭紙向け] 製品の荷動きは好調。真物の古紙は発生悪いものの、大手洋紙メーカーの停機による上物需要減なども影響しており、メーカーの古紙在庫は潤沢。また、メーカー側はコストダウンを狙い雑誌選別品を積極的に使用しているため、古紙問屋では家庭紙向け古紙の在庫が増えていると推測される。

(2) 製品市況・トピックス (紙・板紙の12月の需要速報)

12月の紙・板紙国内出荷量は、前年同月対比で6.1%の減(5ヶ月連続の減少)。

うち、紙は9.5%減、板紙は2.2%減となった。

〈主要品種〉

- ・印刷情報用紙の国内出荷は前年同月比12.7%減
- ・衛生用紙の国内出荷は同2.1%減
- ・段ボール原紙の国内出荷は同1.4%減

また、製紙連合会が発表した2020年の紙と板紙の国内需要は前年比1.7%減となる見通し。(前年実績を下回るのは10年連続)うち、紙は3.2%減、印刷・情報用紙は3.8%減、衛生用紙は0.8%増と予測している。

●研究委員会

令和元年12月度 新聞・チラシ重量調査の報告

●財務委員会

季節変動係数算出資料の提出依頼

次回の三紙会は、2月21日(金)15時30分～。

2 月 度 定 例 会

日 時：令和2年2月21日(金)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：小池 茂男・(株)小池商店

島田 秀彦・(株)工藤商店

報告者：金井 大輔・(株)藤川紙業

【令和2年1月

裾物主要三品仕入実績報告(34社)】

[段ボール] 前月比 87.0% 前年比 100.8%

[新聞] 前月比 86.9% 前年比 91.9%

[雑誌] 前月比 88.4% 前年比 98.8%

[総括] 入荷量が増えている要因は、集団回収業者がやめた物が行政回収として入ってきている。

【ブロック別仕入平均単価報告(各地区発表)】

平均単価：段ボール…5.94円、新聞…8.73円、雑誌…3.87円

[総括] 建材向けの段ボール持込は¥0ないしお断する場合がある。仕入価格は依然として下げ基調となっている。

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) 上物市況報告

[洋紙向け] パルプの下落に連れ安となる形で価格弱含み。

[白板向け] 発生は低調であるが、消費も低調であるため、低位バランス。

[特更向け] 出版物の販売不振は深刻であり、それに伴う切付の発生は低調。しかし、消費も低調であるため荷余り感が出てきている。

[家庭紙向け] 業界の中では比較的堅調な販売・稼働ではあるが、コロナウイルスの影響によるインバウンド需要の不透明感があり、今後の動きに不安要素が強い。また、コストダウンを狙い雑誌選別品を積極的に使用しているため、各問屋とも引き続き家庭紙グレードの古紙は在庫が重いと推測される。

●研究委員会

3月の新聞・チラシ重量調査のお願い。

●広報委員会

3月5日(木)18:00～委員会を行う。

かんと次号の三紙会 Tweet は【私のオリピック】、4人に執筆依頼済。

●その他

「逆有償」という言葉は適切ではないので「回収費用」などへ変更したほうが良いのでは。また、行政機関等にも協力して頂く様に促していく。市況変化があり古紙価格が高騰した場合には回収費用とは別に売払いなどを検討すれば良いのではないかと。

次回の三紙会は、3月27日(金)15時30分～。

※総会前の役員会を15時～開催する。

三紙会 Tweet 「私のオリンピック」

株式会社高岡
後藤 和則

「私のオリンピック」

何を書こうかと、あれこれ悩み、名場面か？
名言か？

沢山ありまして一つに絞れないまま締め切りの日が近づき、好きな選手は誰かと思って最初に出てくるのが、柔道の山下さんです。

度々、柔道の名場面集でも出て来るので皆様も知っていると思いますが、あの金メダルの試合は、いつ見ても感動します。

もし自分があのエジプトの選手と同じ立場だったらどうだろうか、スポーツマンシップと金メダル獲得の重圧と本当に究極の選択に違いない。

その当事者しか分からない緊張感の中で、素

晴らしい試合でした。

まだ、自分の人生において究極の選択の場面に出くわしていませんが、後悔しない選択を出来る引き出しを沢山これから持ちたいと思います。

勝つことだけが素晴らしいことではないと、あの試合は教えてくれた名場面です。



栗原紙材株式会社
佐々木 健

私のオリンピック。私にとっては、1回目の東京オリンピックです。祖母に東京オリンピックの話の話を聞くと嬉しそうに昭和39年の話をしてくれます。祖母にとっては2回目の東京オリンピックです。昔話をしている人は生き生きしています。まさに映画「三丁目の夕日」の世界です。昔話は呆け防止にもなるそうです。私は昔話を聞くことが好きです。昔話（歴史）からは多くのことを学べます。栗原紙材にも2回目の

東京オリンピックを経験する方が大勢いらっしゃいます。その方たちの昔話を聞くことも好きです。私も2回目の東京オリンピックの際に、後輩へ令和2年のオリンピック話が出来るように、今回楽しみです。



株式会社大久保
遠藤 龍二

(株)大久保の遠藤でございます。久しぶりに原稿依頼が無い込んで慌てております。

さて、「私のオリンピック」との題材ですが、私が生まれたのが、前回の東京オリンピックが開催された昭和39年になります。私ももう56歳という事になります。56年前の東京オリンピックがどんな感じだったか解らないですが、たぶん日本中が盛り上がった事だったと思います。今年は何んなオリンピックになるか楽しみにしておりましたが、最近中国武漢より発症したコロナウィルスの影響が気になります。間違いな

く開催されるとは思いますが、地元開催という事もあり前回のリオオリンピックのメダル数41個を上回る事は間違いないでしょう。チケットはすべて外れてしまいましたので、自分は自宅にてTV観戦オンリーで応援したいと思います。



本コーナー「三紙会 Tweet」は、オリンピック・パラリンピックの開催延期が発表される以前に執筆された記事になります。

省エネペーラー誕生
SW770 HEシリーズ
HIGH SPEED.HIGH PRESSURE
AND ENERGY SAVING

「ペーラー」の進化による省エネ20%を実現
契約電力DOWN!!

消費電力
25%
以上削減!!

「ペーラー」の進化による省エネ20%を実現
消費電力DOWN!!

showa 株式会社 昭 和

本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号
http://www.showa-press.co.jp 電話 03-3689-0303

WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：神崎 貴徳
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ!

リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力!

セキュリティと
災害に強い!

サーバ購入
・管理不要!

二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ペーラー番線。

豊かな環境を
ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス

株式会社 櫻 井

http://www.kk-sakurai.com/
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

巻数/サイズ	コイル 1巻	コイル 1巻	1+17- 1巻	1+17- 1巻
E12 28%	50	100	500	1,000
E10 32%	50	100	500	1,000
E8 40%	50	100	500	1,000

ペーラー番線

最良の品質・防錆OK
ートラブル、ロスが少ないー
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

業界人語

「リサイクルとの再会」

日本製紙連合会

理事長

小川 恒弘



ら新しい分野に法律をつくるのは、大変でして、当時の内閣法制局の担当参事官の山本庸幸さん（元内閣法制局長官・元最高裁判事）には、ぎりぎり詰められながら、最後は助けて（抱き起して）いただいたのをよく覚えております。

昨年7月、日本製紙連合会理事長に着任しました小川です。

私と古紙やリサイクル問題との最初のお付き合いは、今から40年以上前の1978年、私が当時の通産省の立地公害局に1年生で配属された際、当時の厚生省の廃棄物処理法の所管課の課長通達で、廃棄物処理法の許可が不要な、いわゆる「専ら物」の運用に関し厚生省との議論を行ったときであります。

次の接点は、1990年から91年にかけて、通産省環境立地局の法令審査委員として、当時の環境政策課長の若杉隆平さん（現・新潟県立大学学長）のお手伝いをしながら、日本で最初のリサイクル関連の法律である「再生資源の利用の促進に関する法律」（通称「リサイクル法」）を策定いたしました。思い返してみますと、当時の紙業課、製紙業界、古紙業界の皆さまには、リサイクル法の制定に先駆けて、「1994年度までに古紙利用率を55%とする」目標を制定（1990年）していただく等、大変ご協力をいただきました。

その後のリサイクル関連の法律を知った方々からは、90年の法律をみても至極当然の概念が並んでいると感じられると思いますが、ゼロか

その次の機会は、1993年から96年まで、同じく環境立地局の再資源化対策室長として、当時の環境政策課長であられた羽山製紙連合会顧問の指導・監督を受けながら、「容器包装リサイクル法」の担当管理職として、今の働き方改革とは全く正反対の勤務環境の中で、同法及び政省令をつくりましたことでもあります。

また、その後の家電リサイクル法、自動車リサイクル法の骨子をつくり、96年に再資源化対策室長を離任する最後の仕事として、組織改正で、再資源化対策室をリサイクル推進課に格上げして、初代リサイクル推進課長になり、リサイクルの世界を離れました。

その後、2009年に経産省を退職するまで、ほとんどを国際関係の業務に従事しました。退官後は、民間企業や大学の客員教授にたずさわりましたので、製紙業界やリサイクルの問題に直接関係するのは、およそ四半世紀ぶりですが、少しでも皆さまのお役にたつべく全力を尽くしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

編 集 後 記

春が来ました。春に疫病は無害のようです。コブシ、桜が山々に彩色しています。街中ではツツジ、ハナミズキが目に見え鮮やかです。無数のタンポポ、菜の花が広がっています。永続してきた風景です。

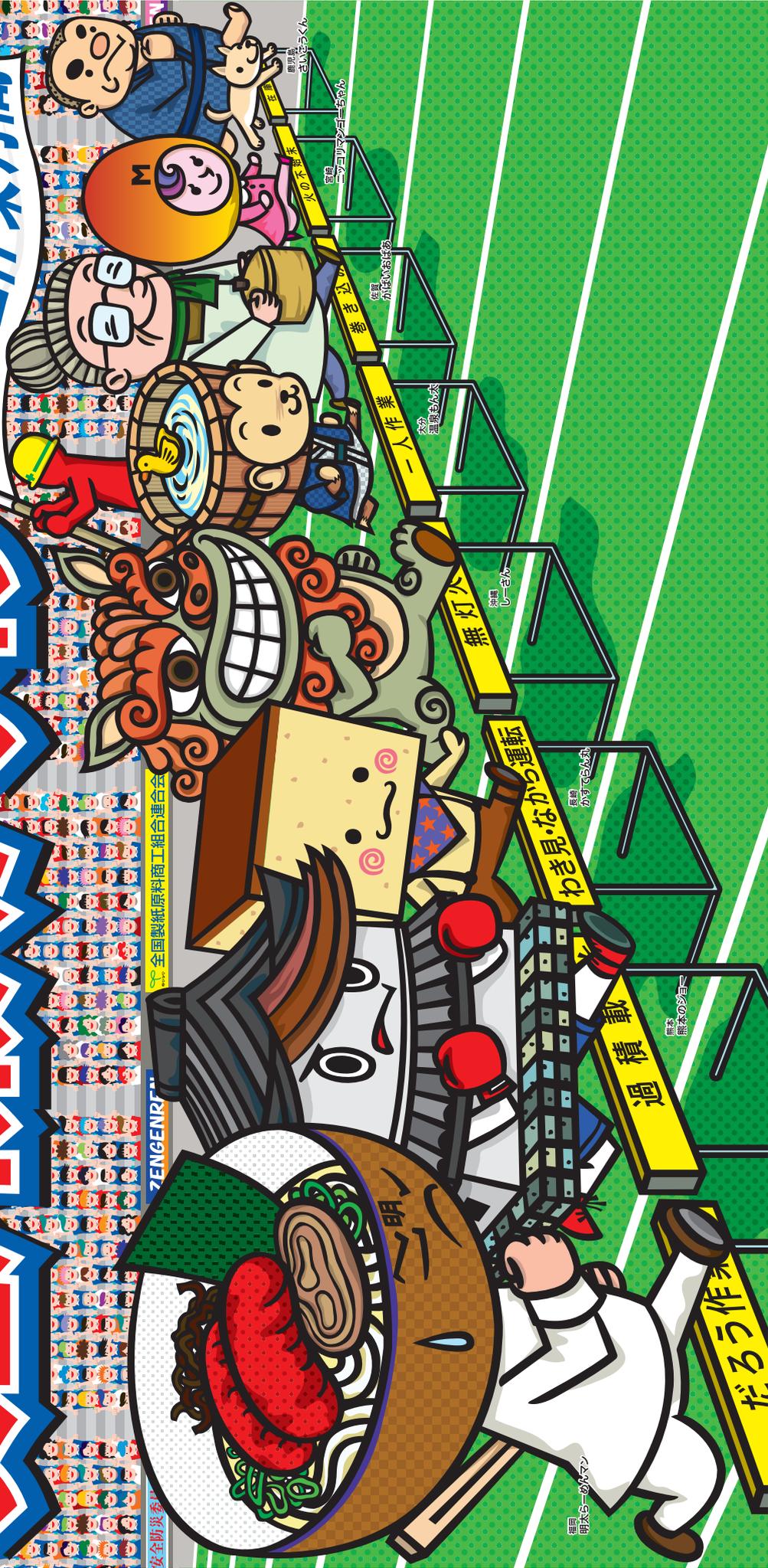
春に咲く花は人々に何を伝えているのでしょうか。コブシは負けん気の強さ。桜は精神の美。ツツジは節制。ハナミズキは永続性。タンポポは愛の信託。菜の花は快活。これらは花言葉です。病に負けてはいけません。

恐怖はマラリヤや黒熱病よりも恐ろしい病気である。マラリヤや黒熱病は体を蝕む。しかし、恐怖は精神を蝕む。ガンジー。

（編集人 斎藤大介）

安全対策万全

2020年
春の安全作業週間



- ④ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- ⑤ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- ⑥ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- ⑦ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- ⑧ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- ⑨ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

全国製紙原料商工組合連合会

令和2年度

安全対策7月展



全国製紙原料商工組合連合会